

# 第6回 北庄内合併協議会

期日：平成17年10月19日（水）

午後3時30分

会場：平田町農村環境改善センター

## 次 第

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 事

#### （1）報告事項

市長職務執行者の選任について

市章の選定について

報告第11号 平成17年度北庄内合併協議会歳入歳出予算の流用について

平成17年度北庄内合併協議会歳入歳出決算（見込み）について

新市の市民憲章（素案）の検討状況について

新「酒田市」開市式・開庁式の開催について

#### （2）その他

### 4 閉 会

## 市長職務執行者の選任について

平成17年9月29日、酒田市役所において、酒田市長、八幡町長、松山町長及び平田町長の協議により、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第1条の2の規定に基づく酒田市長職務執行者を、別紙のとおり選任したので報告します。

平成17年10月19日

北庄内合併協議会

会長 阿部 寿一

# 写

酒田市、飽海郡八幡町、同郡松山町及び同郡平田町の  
廃置分合に伴う酒田市長職務執行者に関する協議書

酒田市、飽海郡八幡町、同郡松山町及び同郡平田町を廃し、その区域をもって平成17年11月1日から新たに「酒田市」を設置することに伴う酒田市長職務執行者について、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第1条の2第1項の規定に基づき、下記のとおり定める。

## 記

酒田市長職務執行者 佐々木 藤 正

平成17年9月29日

酒田市長 阿 部 寿



八幡町長 後 藤 孝



松山町長 佐々木 藤



平田町長 加 藤 寛



## 市章の選定について

1 新「酒田市」の市章については、11月1日に公表するものとする。

### 2 選定までの経過

#### 公募を実施果

募集期間 平成17年6月30日～7月29日(30日間)

応募人数 354人

応募総数 598作品

#### 選定状況

8月8日 第1次選定

建設計画に関する小委員会における候補の絞り込み

小委員会各委員が、新市の市章にふさわしいと思われる作品を、一人10点以内で選定。合わせて、58点を第1次選定候補作品として決定。

9月上旬 第2次選定

アドバイザーによる第2次候補作品の選定

アドバイザーが、第1次選定候補作品58点の中から、デザインの専門的な見地から候補作品5点を選定。

アドバイザー 東北芸術工科大学 上條喬久教授

9月13日 正副会長による選定

正副会長会議において最終候補作品を選定。

正副会長会議において、アドバイザーが選定した候補5点のうち1点を補作依頼。補作完成后、現在の市章・町章を最終候補として加えて決定することとする。

選定作品の類似調査の実施((株)ぎょうせい委託)

アドバイザーによる選定作品の補作

10月17日 正副会長による選定

正副会長会議において採用作品を決定。

現在の市章・町章を含め検討した結果アドバイザーが補作を加えた作品を採用作品に決定する。

報告第 1 1 号

平成 1 7 年度北庄内合併協議会歳入歳出予算の流用について

北庄内合併協議会財務規程第 7 条の規定に基づき、歳出予算のうち款項を越える流用をしたので、別紙のとおり報告します。

平成17年度 北庄内合併協議会歳入歳出予算流用報告書

歳出

(単位:円)

款	項	目	節	本年度 予算額	流用額	流用後 の額	説 明
1 事業費	1 事業費	2 啓発費					
			11 需用費	4,743,000	764,282	5,507,282	協議会だよりのページ数の増による印刷製本費不足のため、2款1項1目「11節 需用費」より764,282円を流用
			13 委託料	376,120	1,200,000	1,576,120	1市3町の合併についての特集記事を新聞に掲載し広く県民に知らせるため、2款1項1目「12節 役務費」より100,000円、「19節 負担金、補助及び交付金」より1,100,000円を流用
2 運営費	1 事務費	1 事務費					
			11 需用費	1,174,000	764,282	409,718	1款1項2目「11節 需用費」へ764,282円を流用
			12 役務費	210,000	100,000	110,000	1款1項2目「13節 委託料」へ100,000円を流用
	19 負担金、 補助及び 交付金	3,784,000	1,100,000	2,684,000	1款1項2目「13節 委託料」へ1,100,000円を流用		

平成17年度 北庄内合併協議会歳入歳出決算書（見込み）

歳入

(単位:円)

款	項	目	当 初 予算額	補 正 予算額	-	計	節		収入済額	増 減	備 考
							区分	金額			
1	1	1	5,200,000	2,220,000		7,420,000	1	7,420,000	7,420,000	0	合併協議会負担金 1,855,000円×4市町
	1	1					1				
2	1	1	1,000			1,000	1	1,000	30	970	預金利息
	1	1					1				
3	1	1	2,954,000	1,579,000		4,533,000	1	4,533,000	4,533,942	942	
	1	1					1				
	計		8,155,000	3,799,000		11,954,000			11,953,972	28	

歳出

(単位:円)

款	項	目	当 初 予算額	補 正 予算額	予備費支出 及び 流用増減	計	節		支出済額	不用額	備 考
							区分	金額			
1	1	1	646,000			646,000			576,808	69,192	
	1	1					1				
							1	210,900	210,900	0	協議会委員報酬
							9	193,248	151,172	42,076	費用弁償
							11	27,000	26,884	116	食糧費
							13	184,852	184,852	0	会議録音テープ 反訳委託料
							14	30,000	3,000	27,000	協議会会場借上料
		2	1,554,000	3,799,000	2,258,282	7,611,282			7,611,282	0	
							8	460,000	460,000	0	報償金 アドバイザー謝金
							9	67,880	67,880	0	費用弁償
							11	5,507,282	5,507,282	0	協議会だよりの発行 生活ガイドマップ
							13	1,576,120	1,576,120	0	ホームページ更新委託料 新聞掲載業務委託料
		3	150,000			150,000	13	150,000	135,240	14,760	新市例規作成委託料

## 歳出

(単位:円)

款	項	目	当初 予算額	補正 予算額	予備費支出 及び 流用増減	計	節		支出済額	不用額	備考	
							区分	金額				
2 運営費	1 事務費	1 事務費	5,505,000		1,964,282	3,540,718			3,460,123	80,595		
		9 旅費					305,000	278,493			26,507	事務局職員普通旅費
		11 需用費					409,718	401,119			8,599	一般需用費
		12 役務費					110,000	97,940			12,060	通信運搬費、手数料
		13 委託料					32,000	31,500			500	自動ドア保守点検委託料
		19 負担金、 補助及び 交付金					2,684,000	2,651,071			32,929	臨時職員賃金負担金 867,871 事務室維持管理負担金 305,336 職員時間外勤務手当 負担金 1,430,904 駐車場駐車券負担金 46,960
3 予備費	1 予備費	1 予備費	300,000		294,000	6,000			6,000	1款1項2目へ 予備費充用		
計			8,155,000	3,799,000		11,954,000			11,783,453	170,547		

11,953,972(収入済額) - 11,783,453(支出済額) = 170,519(歳入歳出差引額)



## 新市の市民憲章（素案）の検討状況について

### 現在の1市3町の市・町民憲章

<p>酒田市</p>	<p>わたくしたちは、最上川と日本海の出合うまち、酒田の市民です。 誇りと責任を持って、5つの誓いをいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 自然と風土を愛し、美しいまちをつくります。</li> <li>1 教養と文化を高め、心豊かなまちをつくります。</li> <li>1 働く喜びと奉仕の心で、あたたかいまちをつくります。</li> <li>1 心と体をきたえ、明るくたくましいまちをつくります。</li> <li>1 みんなで考え、力を合わせ、希望のあるまちをつくります。</li> </ul>
<p>八幡町</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 心をあわせ、美しい町をつくりましょう</li> <li>1 きまりを守り、明るい町をつくりましょう</li> <li>1 よく働き、豊かな町をつくりましょう</li> <li>1 教養を高め、文化の町をつくりましょう</li> <li>1 愛情をもち、あたたかい町をつくりましょう</li> </ul>
<p>松山町</p>	<p>松山町は、緑豊かな大地と先人たちが残したすぐれた文化に恵まれた町です。 わたくしたちは、ここに住む誇りと責任を持ち、未来に向けて躍進する郷土を築くため、この憲章を定めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ たがいに助け合い、思いやりの心とふれあいを大切にします。</li> <li>・ きれいな環境をつくり、明るく健康な暮らしをめざします。</li> <li>・ 伝統を尊び、ともに学んで新しい文化を築きます。</li> <li>・ 働くことに喜びをもち、豊かで活気のある毎日を過ごします。</li> <li>・ 自然を愛し、地球を大切にす美しい心を育てます。</li> </ul>
<p>平田町</p>	<p>平田町は、緑の山々と美しい田園にめぐまれ、人間味の深い町です。 わたくしたちは、わたくしたちの手でこの自然をまもり、住みよい町にするため、この憲章を定めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 心身をきたえ、活力ある町をつくります。</li> <li>1 礼儀を重んじ、心のつながりを深めます。</li> <li>1 教養を高め、文化の町をつくります。</li> <li>1 仕事にはげみ、豊かな町をつくります。</li> <li>1 余暇を生かし、明るい町をつくります。</li> </ul>

現在の1市3町の市・町民憲章を構成する要素

	自然	教養・文化	勤労	健康・環境	協働・つながり	その他
酒田市	自然と風土を愛し、美しいまちをつくります	教養と文化を高め、心豊かなまちをつくります	働く喜びと奉仕の心で、あたたかいまちをつくります	心と体をきたえ、明るくたくましいまちをつくります。	みんなで考え、力を合わせ、希望のあるまちをつくります	
八幡町		教養を高め、文化の町をつくりましょう	よく働き、豊かな町をつくりましょう	心をあわせ、美しい町をつくりましょう	愛情をもち、あたたかい町をつくりましょう	きまりを守り、明るい町をつくりましょう
松山町	自然を愛し、地球を大切に する美しい心を育てます	伝統を尊び、ともに学んで 新しい文化を築きます	働くことに喜びをもち、豊かで活気のある毎日過ごします	きれいな環境をつくり、明るく健康な暮らしをめざします	たがいに助け合い、思いやりの心とふれあいを大切にします	
平田町		教養を高め、文化の町をつくります	仕事にはげみ、豊かな町をつくります	心身をきたえ、活力ある町をつくります	礼儀を重んじ、心のつながりを深めます	余暇を生かし、明るい町をつくります

新市建設計画を構成するキーワード

<p>新市の将来像 『鳥海山を仰ぎ、人いきいき、まち快適 世界と結び、夢かなえる 未来創造都市』</p> <p>基本方針及び主要施策 『恵みを活かす』 『地域を活かす』 『人を活かす』</p> <p>【視点】</p>							
鳥海山	最上川	日本海	コミュニティ	伝統	庄内米	緑の山々	交流
冬の厳しさ	相互扶助	国際	地域	文化	環境	科学	健康
公益	自立	港	海運	北前船	地球市民	協働	参加
安全・安心	IT	市民参加	男女共同参画				

現在検討されている案の骨子

	自然・文化	勤労・健康	奉仕・協働	教養・未来
1 案	公益の 心息づく豊かな大地 酒田の誇り	働く喜びに満ちた 活気のある声が響く 明るいまちは 酒田の希望	支え合う 笑顔ときずなは 酒田の願い	教養を高め世界と拓く 夢に満ちたまちは 酒田の未来
2 案	豊かな大地に根づく 文化の香りは 酒田の誇り	働く喜びに満ちた 活気のあるあふれる明るい まちは 酒田の希望	力を合わせ支え合う 笑顔ときずなは 酒田の願い	たくましく 元気に学ぶ夢ある子ら は 酒田の未来
3 案	文化が薫る 豊かな大地は 酒田の誇り	働く喜びに あふれる明るいまちは 酒田の希望	手を合わせ 築くきずなは 酒田の願い	夢に満ち 世界に結ぶまちは 酒田の未来

## 酒田市開市式開催概要

	本 所（開市、開庁式）	総 合 支 所（開庁式）
開催日時	平成17年11月1日（火） 午前7時40分～午前8時20分	平成17年11月1日（火） 午前9時～午前9時10分
場 所	市民会館 庁舎正面	各庁舎前（雨天の場合各庁舎ホール）
来 賓	国会議員 山形県知事他山形県関係者 山形県議会議長他山形県議会議員	
案内対象	前市町長他三役 前市町議会議員 北庄内合併協議会委員 前市町行政委員会委員の代表者等	
出席者	市長職務執行者 職員	総合支所長 各総合支所職員
参集人数	約500名	約50名
式典内容	開式 市旗掲揚又は市旗除幕 市長職務執行者式辞 来賓祝辞 来賓紹介 祝電披露 職員訓示 テープカット 閉式	開式 市旗掲揚 総合支所長あいさつ 閉式

市民と一緒に合併を祝う会として、「合併記念式典」を新市発足後に開催する。